



414  
A 894



# 對朝鮮

大正  
十一年  
四月  
贈月

朝鮮官廷  
ト日本

朝鮮人ノ  
日本ヲ信頼  
スル正統觀  
念

一 駐在外之官ノ幾豆ト精勤トニ依リ朝鮮  
官廷ト日本トノ關係ハ殊ニ親密ナリ  
他國ト紛糾シ生ズル毎ニ我が駐在外交官  
ハハラス其間ニ必シテ都合ヨク取リ計ラヒ培  
ル事

二 二十七八年戰役ニ依リ朝鮮人が過度ニ日本  
人ヲ畏レタルト又其反動トシテ一二年而日本  
人ヲ輕視シタルト二個ノ不順ヲ生ズルノ觀念ハ今  
ヤ去リテ朝鮮人ハ眞ニ日本ヲ信頼スルノ  
順序ナル正統ナル觀念ヲ生ズルニ至リタル事

無形上有  
形上ノ扶翼

文明ノ福音  
輸入

教育ノ事業  
保護

朝鮮宣教  
者ノ模範

佛教徒

三

故ニ日本國民ハ無形上ニ有形上ニ誠意込込  
以テ朝鮮ヲ扶翼セザルベカラズ 及ビ利益  
無形上ニハ文明ノ福音、人道ノ善思ヲ朝鮮  
ニ輸入シ朝鮮人ノ頭腦ヲ開發セシムルコトニ  
盡力セザルベカラズ  
故ニ日本人ノ朝鮮ニ於テ開始セル教育事業  
ニ助力カシ保護シ且ツ佛教徒ニ基督教徒  
ニ教育事業ニ朝鮮ニテ當著者ニハ振作ノ念ヲ  
講ゼンコトヲ期ス  
大凡實業補習學校ヲ朝鮮内地光州ニ設  
置セル亦頭等子ノ奥村五百子ノ如キ五十餘歲  
ノ婦人ヲ以テ深ク内地ニ入り朝鮮人ニ美意啓蒙ヨリ  
小ハ掃ラぬ衣スルコトニ至ルニテ親切ニ教授スルモ

基督教徒

日露協同  
第三條ノ精  
神

五

ノ如キ模範トナスニ、基督教徒ノ亦多庸  
一氏等が献身的ノ言行ヲ以テ宣教ニ誠意  
込込ト少額ノ経費トヲ以テ多數ノ朝鮮人ヲ教育  
スルモノノ如キ亦シ模範トナスニ  
有形上ニ關シテハ將來朝鮮ニ利益ヲ直接ニ有  
スル國ト爲クニ或ハ衝突スル嫌ナキト杞憂スル  
モノモナキアラズモ程彼等ノ有形的ヲ朝鮮ニ誠意  
込込ト念々頻頻トナルニ至ルニ時ニ或ハ此ノ杞憂  
ノ事ニ夫トナルモ計ラズト思フ人モアルベシト雜モ  
日露協同第三條ノ精神タルヤ露西亞ハ明カニ  
南工事業ノ關係ニ於テハ朝鮮ニ於テ日本ノ利益  
行新ヲ承認シ朝鮮ニ於テ日本ノ南工事業ノ及  
達及ビ日本ノ居留民ノ多數ナルコトヲ認認セルヲ以テ

補習學校

日本人海外の事業ト外交の伸張朝鮮新六開港場

断シテ有形ノ事業ニ關シテハ朝鮮ニ直接ノ利害ヲ有スル兩ト衝突スルモノトイフシ唯ダ日本ハ貿易通商ノ正當ナル恒産ノ方法ニ則ッテ益々朝鮮トノ關係ヲ存スベシ

日本人ノ海外ニ於テハ事業ニシテ進マハ政府ノ外交モ亦々自ラ伸張スベシ、幸ニ進取ノ氣象ニ當ル日亦人ノ海外ニ於テハ事業ニ依リテ政府ノ外交ヲ伸張サシメシトシテ亦々進取ニ堪ヘズ

六 日本人ガ朝鮮ニ於テハ事業ヲ將來益々擴張スニ當リテハ政府ハ亦々正當ナル準備ヲナサザルベカラズ釜山、仁川、元山、水浦ナドノ如キ從來ノ開港場ノ不足ニ感アルヲ以テ南部ニ於テハ慶尚道ノ馬山浦、中部ニ於テハ全羅道ノ郡山、北

馬山浦

城津浦

平壤

部ニ於テハ咸鏡道ノ城津、内地ニ於テハ朝鮮ノ京都トモ云フベキ平壤ニ各々領事官ノ別館ヲ設ケ且ツ日本居留地ヲ開設セントス

馬山ハ朝鮮南部唯一ノ大河タル洛東江ノ沈野ノ生産物ノ天然の出口ニシテ其近傍ニ三十里ノ間ナル穀物ノ蒐集地ナリ北方モ西方モ西南方モ悉ク朝鮮ノ物産ヲ多出スル地方ナルガニニ糧泊地モ亦々極メテ安全ナルヲ以テ將來甚カ有勢ナル地トナス

城津ハ北道ノ曹幕ノ中心トシテ彌爾吉州ニ近ク朝鮮北道ノ部ナル砂金、大小豆、牛皮、北魚ノ出口ニシテ露人清人ノ久シク注目セシ港灣ナリトス  
平壤ハ日清戰事前マデハ日本商人ニシテ行商ヲ試ミタルモノナク日本人ノ取引ハ朝鮮南道ノ平壤ニ

郡山

取扱ハレタルモ戰事後ハ日本人ノ入り込ムモノ頗ニ  
多クナリ又然ルニ二十九年朝鮮政府ノ變動ニ  
由リ日本人ハ一旦密ク引上ゲンガ昨今ニ至リ日本  
通商ノ景氣ニ更ニ回復シ昨年ノ如キハ日本トノ  
輸出入殆ンド六十萬圓ニ上リ朝鮮貿易ノ繁  
一盛ヲ占ムルニ至レリ  
郡山モ亦タ地形上將テ有望ニ地ト云  
以上ノ如クナルヲ以テ馬山、城津、郡山、平壤ニ  
附領事館ノ別館ヲ置キ且ツ日本居留地ヲ開  
カントスルモノ偶然ニシラス

對支那

一 目下ノ政變善後ノ方法ニ就テハ目下着々  
進行中ナルヲ以テ事ヲ急ニ決スルニ決シ  
餘リ多ク發表セズ

二 然レドモ年少氣銳ニマシマシテ改革ノ志ニ多ク  
シテ字義百出疑義千出ノ間ニ在リモハ爾時  
皇帝陛下ノ御一身上ニ對シテハ日本帝國ハ力ノ  
及ブ限リ此等ノ世上ニ流布セル字義ト疑義トヲ排  
除シ去ルノ手段ニ出テザルベカラズ要スルニ清國皇  
帝ハ進歩主義者ノ良友トシテ之レヲ尊重シ擁護  
スルノ方針ヲ取ラザルベカラズ

三 支那ノ南部ニハ真成ニ文明ノ福音ト利益トヲ輸入

皇帝ヲ擁護スメン

南方改革

論者ヲ絶望  
セシムル勿ク

支那北方ノ  
人民日本  
ニ對スル正  
統ノ觀念

三

シテ銳意改革ノ事業ヲ決行セントスルモノ少カラズ而  
シテ此等ノ改革論者ハ今固ク政變ニ會スルモ亦其  
ノ主義ヲ捨テザルナリ日本人ハ猶ラク此等眞實ナル  
改革徒ノ希望ヲ挫折セシメザランフト期セザル  
ベカラズ  
滿洲地方及ビ支那ノ北部ヲ旅行スル日本人ハ到  
ル處ニ支那ノ軍人、官吏及ビ人民ニ大ニ敬待セ  
ラレ北部支那人ノ誠心ヨリ日本ヲ敬慕スルニ至リ  
タルハ西洋ノ旅行者モ亦多ク報告スル所ナリ北部支  
那ノ官民ハ固ク日ニ至リテ初メテ日清戦争ノ義氣  
タルヲ覺ルニ至リ特ニ歐洲列國ノ支那ノ北部ヲ分  
領スルヲ見テ類ル日本ニ信頼スルノ觀念ヲ引キ起  
シ日本ヲ以テ眞ニ唇齒補率ノ邦國ト語ルニ至

昨年来

日本ノ支那  
ニ對シテ  
ヲ公表ス

北京政變ニ  
對スル日本  
英國ノ提  
携ヲ暗ニ  
不

四

レリ  
此ノ如ク日本帝國ハ浮説白出疑惑ヲ出ノ間ニ  
在リ玉ヘル清國皇帝陛下ヲカノ及ブ限リ擁護シ  
奉ルト、南チノ眞實ナル改革論者ヲシテ絶望セシ  
メザルト、北方ナル支那人ノ日本ヲ敬慕スルノ觀念ヲ  
シテ益々増進セシムルノ今ノ秋ニ當リテハ北京ニ出  
兵シタル歐洲列國トハ其方針ヲ別ニセザル  
ベカラズ

五

日本ノ目下ノ清國政變ニ對スル方針ハ北京ニ出兵  
セル歐洲列國トハ或ハ別ニセザルベカラズ知ルベ  
カラズト雖モ苟クモ日本帝國ノ對清上利害ヲ考  
ミシ關係ヲ同一ニスル邦國ノアリテ此邦國ニシテ果  
シテ人道ノ大義ニ則リ文明ノ通義ニ則リ正理

萬己ハ得  
ザルハ正當  
防衛トシテ日  
本モ支那ヲ  
分割セシト  
ハ暗ニ示シ  
以テ目下世  
論が現内閣  
外ニテ無為  
ナリト嗚呼スル  
モノニ進心ス  
ルハトモ

六

公道ニ由リテ始終スルモノナリセバ日本ハ固ヨク之ト  
提携シテ目下ノ清國政變ヲ處理セザルベカラ  
ズ  
歐洲列國ミシテ萬々一ニモ或ハ支那土地ヲ分有ス  
ルカ如キモノアラシカ此ノ如キ不存ナルコトハ固ヨクアル  
ベカラザルハ確信シテ疑ハズト雖モ日本モ亦タ萬々  
一ノ變ニ備フル所ナカルベカラズ彼等ニ依リテハ  
日本モ亦タ此ノコトヲ得ズ強權ノ舉措ニ出デザル  
ベカラズ何トナレバ是レ清國ノ問題ニアラズシテ實  
ニ日本帝國ノ防衛ニ關スル問題ナリトナリ得ル  
正當防衛ノ問題ナリトハナリ  
日本帝國ノ  
福州ニ領事館ヲ新設シ日本モ居地ヲ新開  
分割ヲ約定シ地方ノ中心タル

支那改革者

免刑運動

ヲ示シテ  
憲政改革ノ  
主義ヲ明カ  
シテ進歩主  
義ナルコトヲ示  
ス

七

セントスルモノハラズシモ偶然ノコトニアラズ然レ  
ドモ福州が永ク支那ノ繁昌ナル一貿易場タルコト  
ヲ希シテスルナリ吾人ハ  
吾人ハ又タ吾人が多年主張セル自由進歩ノ主義  
ニ據リ最モ人權ヲ重シ且ツ進歩ノ朋友タルコト  
ヲ期セザルベカラズ否此ノ事ヲ普ク世界ニ知セシムルハ  
耶カ吾人ノ抱負トスル所ナリ即チ自由進歩ノ為メ  
ニ支那ノ改革ヲ主張シ其結果トシテ捕縛セラレ  
處刑セラレントスルモノニ對シテハ吾人ハ人道ノ為メニ  
其死刑ニ免セラザランコトヲ希望シ且ツ運動シタ  
リ此運動ノ結果トシテ免刑若クハ釋放サレタル  
モノ實ニ數名アリ  
然レドモ吾人ハ此輩が改革主義者タルノ故ヲ以テ

時。交。那。現。  
政。府。の。同。心。  
ヲ。表。ス。ル。所。也。  
示。サ。ル。心。也。

擁護スルノモ若夫所謂改革者ノ鋒をタルモ  
ノスラ神經をテ言敏ニシテ小智ニ馳セ遠大ノ秩  
序アル改革方法ニ出デザリシコト面白カラズ思  
フナリ吾人ハ指ヲ屈シ領ニ至リシハ誠ニ進バンテ  
李鴻章ノ如キ偉大ノ頭腦ノ人コト遠大ノ秩序  
アル改革ヲ出デシコトヲ希シテ獨リ清國ノ  
為メニニアラス日本ノ為メニ希シテ止マザルナ  
リ 若クハ張之洞

米。國。の。力。  
是。の。強。大。  
ニ。對。シ。

米。國。の。力。  
ト。推。ス。

# 對スザリピン

一  
フザリピン群島ハ目下無秩序ノ不規律ノ間ニ在リ  
故ニ自亦帝國ハ人道ノ為メニ進歩ノ為メ此ノ無  
秩序ノ不規律ヲ排除シ以テ群島七百萬ノ生靈  
ヲ能ク安ん出スルヲ出ダスルハ實カアル知  
國アリセバ寧ろ口ヲ統治セシコトヲ希シテ然レド  
モ之レヲ統治スルハ有スルナクハ緣故アリ條理  
アル知國ナラザルベカラズ故ニ若シ夫レ西班牙ニシテ  
果シテ群島ノ生靈ヲ安ん出スルハ出カス能ハズ  
ト假定セシカ他ニ之レニ當ル知國ヲ見セザル  
ベカラズ吾人ハ此ノ知國ニシテ果シテ正義公道ノ為  
メニ始終セバ元ト共ニ進退スルコトニ躊躇セザル

時ニ西班牙  
ニモ同感ヲ表  
スル所モ亦  
ザルニシカ  
西班牙ノ後  
ニハ獨逸  
佛蘭西ノ國  
大利等アルヲ  
以テナリ

ニ

モナリ  
西班牙ト日本トハ三百年来ノ舊友國ナリ西班牙  
ノハ實ニ西洋文明ノ種子ヲ初メテ日本ニ輸入セ  
シ國ナリ吾人ハ永ク此恩惠ヲモルビカラス特ニ村  
カ王政維新ノ後ニハ○~~カ~~ 若シド明治ノ初年ヨリ公  
使館ヲ日本ニ置キ全權公使ヲ駐在セシメ又夕  
昨年秋ガ 皇太后陛下崩御降臨ニモ西班牙官  
廷ノ獨り官中喪ヲ登シタルガ如キハ亦タ以テ日本ト  
西班牙トノ關係ハ殊ニ親密ヲ極ムルモノト此  
如リナルヲ以テ吾人ハ米國ノ良友ヲ以テ期スルト同時  
ニ亦タ西班牙ノ良友ヲ以テ期スルモノナリ吾人ハ米西  
戰争ノ結果ニ依リテ米國トモ將タ西班牙トモツ  
シモ關係ヲ變化セルモノニアラズ否西西班牙トニ父

露西亞ト  
日本  
オデッサ

近年度ヲ以テ日本  
際ヲ益々密接ニセシメ今公使館ヲ西班牙國都  
マドリッド府ニ新設セントスルモノナリ

日本帝國ト其他外國トノ關係ハ益々親密トナ  
レリ帝國ハ現ニ露西亞ト通商上ノ關係ヲ有シ  
ニ柔ネテ國際上ノ親密ヲ益々期セシメ露西亞  
唯一ノ大貿易港ナルオデッサニ新ニ領事館ヲ  
開カントス

吾人ハ三千年ノ歴史アリ四千餘萬ノ民衆アリ上ニ  
ハ文明ヲ愛シ進歩ヲ愛シ玉ヘルノ 皇太后陛下下  
ニハ義侠中心愛ナル人民アリ乃チ世界ノ平和ヲ為メ  
人道ノ為メ何ニテカ成ラサルランヤ唯ク正ラ



跡ミテ建ミテ為スルノミ吾人ハ有ルナル四十萬衆  
ノ吾人ヲ壓リテ有ルナル外交ヲ成ルル社セシメシコトヲ  
期望ニ思ヘズ